

# 徳島文理大学 公開講座 2011

徳島キャンパス  
香川キャンパス

プログラム(全日程共通)

15:00~16:30 講演  
16:30~17:00 討論

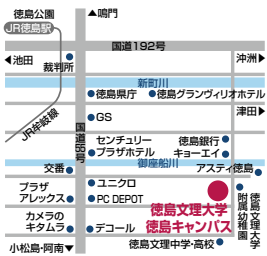
**入場無料**  
事前予約不要



徳島キャンパス

## 徳島キャンパス

徳島市山城町西浜傍示180  
TEL:088-602-8000(代)



●駐車場をご用意しておりますが、スペースに限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

## 香川キャンパス

さぬき市志度1314-1  
TEL:087-894-5111(代)



●駐車場をご用意しております。

## 「強い気持ちと柔らかな頭」



香川キャンパス

徳島文理大学は各界で活躍するリーダーをお招きし、全7回の公開講座を入場無料で開催します。地域活性化や農業、高齢化社会、環境問題など多様なテーマについて、世界的な動向を踏まえ、個人の果たすべき役割について考えます。さらに地元の方々をコメンテーターとしてお招きし、討論に参加していただきます。

ぜひ、ご家族やご友人とお誘い合わせの上、ご来場ください。

### 会場・日程・講師・講演テーマ

- |                            |                  |   |               |   |
|----------------------------|------------------|---|---------------|---|
| 第1回                        | 5/24火<br>徳島キャンパス | (NPO法人まちづくりプランナーふじのみや本館理事、富士宮やきそば学会・会長、<br>株プロシユーマー代表取締役) | <b>渡邊英彦氏</b>  | 「如何にB級ご当地<br>グルメは存在するか」                                     |
| 第2回                        | 6/ 2木<br>香川キャンパス | (キャンクローバル戦略研究所・研究主幹)                                      | <b>山下一仁氏</b>  | 「農業ビッグバンとTPP<br>(Trans-Pacific Partnership)<br>-自由貿易が農業を救う」 |
| 第3回                        | 6/10金<br>徳島キャンパス | (東京大学高齢社会総合研究機構・教授)                                       | <b>秋山弘子氏</b>  | 「長寿社会に生きる」  |
| 第4回                        | 6/24金<br>香川キャンパス | (社蠶の森を募る会・代表、京都大学フィールド科学教育研究センター・社会連携教授)                  | <b>畠山重篤氏</b>  | 「森は海の恋人<br>-鉄は魔法つかい-」                                       |
| 第5回以降は下記の講師による講演を予定しております。 |                  |   |               |   |
| 第5回                        | 徳島キャンパス          | (日本経済同友会・専務理事、前昭和女子大学副理事長)                                | <b>前原金一氏</b>  |   |
| 第6回                        | 香川キャンパス          | (アテネ五輪 シンクロナイズド・スイミング 銀メダリスト)                             | <b>武田美保氏</b>  |   |
| 第7回                        | 徳島キャンパス          | (東京芸術大学先端芸術表現科・教授)  | <b>たほりつこ氏</b> |   |

## 公開講座2011 「強い気持ちと柔らかな頭」

お問い合わせ先 徳島文理大学 徳島キャンパス/〒770-8514 徳島市山城町西浜浜180 TEL.088-602-8000(代) URL http://www.bunri-u.ac.jp/ e-mail gogo@tokushima.bunri-u.ac.jp  
香川キャンパス/〒769-2193 さぬき市志度1314-1 TEL.087-894-5111(代)

第1回

5/24(水)

徳島キャンパス

講師：渡邊 英彦氏

講演題目「如何にB級ご当地グルメは存在するか」

**講演内容** 2000年の富士宮やきそば学会設立以後、急速に地域ブランド化した「富士宮やきそば」。行政予算を使わずに6年間で出した経済波及効果はなんと217億円。現在では、年間60万人がやきそばを食べる目的で富士宮を訪れている。莫大な宣伝広告費を大手広告代理店に支払って大々的なセールスプロモーションをかけることのできない、破綻寸前の地域自治体やB級ご当地グルメを扱っているような中小零細企業はどうすればいいのか？そこに市民団体の存在意義がある。行政予算が無くても、業界から予算を取らなくても、話題作りと情報発信というソフト戦略によって、大手広告代理店に依頼したのと同じ効果を出すことが可能である。勿論、予算は無くとも、行政や業界の人材面での協力は不可欠であり、それが理想的な産学官的連携であると考えられる。

討論者：立木さとみ氏(株式会社 立木写真館常務、徳島青年会議所・元理事長)

NPO法人まちづくりトプランナーふじのみや本舗理事、富士宮やきそば学会・会長、(株)プロシューマー代表取締役

経歴：1959年富士宮市生まれ。国際基督教大学外国語学卒。外資系損保会社に勤務後、ふるさとに帰り、地域振興に尽くす。

著書：「ヤ・キ・ソ・バ・イ・ブ・ルーおもしろくて役に立つまちづくりの聖書」(富士宮やきそば学会、静岡新聞社)

第2回

6/2(木)

香川キャンパス

講師：山下 一仁氏

講演題目「農業ビッグバンとTPP(Trans-Pacific Partnership)  
-自由貿易が農業を救う」

**講演内容** これまで高い関税で守ってきた国内市場は、高齢化、人口減少時代を迎え、縮小していく。農業を維持、発展させるためには、海外の市場を確保する必要がある。そのためには何をすべきだろうか？

討論者：吉原良一氏(吉原食糧株式会社代表取締役社長)

キャングローバル戦略研究所・研究主幹

経歴：東京大学法学部卒、農水省入省、ガット室長、食糧庁総務課長、農林振興局次長、経済産業研究所上席研究員を経て現職。

著書：「WTOと農政改革」(食料・農業政策研究センター)、「国民と消費者重視の農政改革」(東洋経済新報社)、「食の安全と貿易-WTO・SPS協定の法と経済分析」(日本評論社)、「農協の大罪-農政トライアングルが招く日本の食料不安」(宝島社新書)、「フードセキュリティ-コメづくりが日本を救う」(日本評論社)、「亡国農政の終焉」(ベスト新書)、「企業の知恵が農業革新に挑む」(ダイヤモンド社)、「農業ビッグバンの経済学」(日本経済新聞社)、「環境と貿易」(日本評論社)

第3回

6/10(金)

徳島キャンパス

講師：秋山 弘子氏

講演題目「長寿社会に生きる」

**講演内容** 世界最長寿国の日本には人生90年時代が到来した。長寿社会に生まれた我々の課題は大きく分けて2つある。一つは90年の人生をどう設計して生きるかという個人レベルの課題である。人生50年時代と人生90年時代の生き方はおのずと異なる。もう一つは社会のインフラの見直しという社会レベルの課題である。若い世代が多く人口がピラミッド型をしていた時代につくられた社会システムは超高齢社会のニーズにはとても対応できない。90年の人生を健康でもてる能力を最大限に活用して、自分らしく生きることが、長寿社会に生れた我々に与えられた特典であり、チャレンジでもある。長寿社会の課題と可能性を科学的データや取り組みの具体例を紹介してお話したい。

討論者：糟谷三郎氏(NPO法人「シニアパワー・ネットワークとくしま」副理事長)

東京大学高齢社会総合研究機構・教授

経歴：イリノイ大学Ph.D(心理学)。米国国立老化研究機構(National Institute on Aging)フェロー、ミシガン大学社会科学総合研究所研究教授、東京大学大学院人文社会系研究科教授(社会心理学)などを経て現職。日本学術会議会員。高齢者の心身の健康や経済、人間関係の加齢に伴う変化を20年にわたる全国高齢者調査で追跡研究。近年は超高齢社会のニーズに対応するまちづくりに取り組む。

著書・論説：“長寿時代の科学と社会の構想”『科学』2010年1月号、「新老年学 第3版」(東京大学出版会)、「自立の神話「サクセスフル・エイジング」を解剖する“ケアという思想”(上野千鶴子他編、岩波書店)

第4回

6/24(金)

香川キャンパス

講師：畠山 重篤氏

講演題目「森は海の恋人-鉄は魔法つかい」

**講演内容** 動物にとっても植物にとっても生命維持のため「鉄」は不可欠な成分である。しかし、海は貧血なのだ。実は海に鉄を供給しているのは黄砂であり、森から川を通じて海に届くフルボ酸鉄といわれるものである。鉄の科学を知らずして環境問題は語れないのである。(なお、3月11日の東日本大震災の状況についてもお話しいただける予定です)

討論者：山本義久氏(独立行政法人水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所屋島庁舎増養殖部養殖グループグループ長)

牡蠣の森を募う会・代表

経歴：昭和18年、中国上海生まれ。気仙沼水産高校卒業後家業の牡蠣養殖業を継ぐ。平成元年、気仙沼湾にそそぐ大川上流の室根山に漁民による広葉樹の森づくりを開始。また流域の学校の生徒を海に招き環境教育を始める。平成17年、京都大学フィールド科学教育研究センター社会連携教授に就任。

著書：「日本汽水紀行」(文藝春秋)、「鉄は地球温暖化を防ぐ」(文藝春秋)、「森は海の恋人」(文春文庫)、「リアスの海辺から」(文春文庫)、「鉄は魔法つかい」(小学館)、「漁師さんの森づくり」(講談社)